

地域で安全・安心なまちづくりを目指して

●問合先 市役所交通防災課 交通・防災 G 内線 138

●自転車利用者の交通ルール無視やマナーの悪さが目立ちます

自転車は便利な乗り物です。しかし、どんなに便利な乗り物であっても、それを正しく使わなければ、ときには大変な事故を起こすものになります。自転車を生活に上手に取り入れるためには、正しく運転する必要があります。

●自転車利用者が交通違反すると罰則があります

- ・酒酔い運転
(3年以下の懲役または50万円以下の罰金)
- ・日没後の無灯火 (5万円以下の罰金)
- ・一時不停止
(3か月以下の懲役または5万円以下の罰金)
- ・信号無視
(3か月以下の懲役または5万円以下の罰金)
- ・二人乗り (2万円以下の罰金または料料)
- ・歩行者妨害 (2万円以下の罰金または料料)
- ・傘さし片手運転 (5万円以下の罰金)

●自転車利用者はマナーを守りましょう

視覚障がい者誘導用ブロック上の駐輪は大変危険な行為です。絶対にやめましょう！

迷惑駐輪・放置も、特に高齢者や子どもの通行の妨げになります。災害時には、避難や緊急車両の活動の妨げにもなります。

●市内の犯罪発生状況 (平成26年1～10月)

発生地域	刑法犯総数	街頭犯罪	住宅侵入犯罪	万引き	コンビニ強盗	二セ電話詐欺
①	380(△2)	141(△3)	19(△16)	66(△13)	0(0)	0(△2)
②	135(+9)	67(+14)	17(+1)	1(0)	0(0)	2(+1)
③	84(△11)	55(+2)	7(△4)	3(△1)	0(0)	1(+1)
合計	599(△4)	263(+13)	43(△19)	70(△14)	0(0)	3(0)

街頭犯罪内訳

発生地域	乗り物盗			ひったくり	車上狙い
	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗		
①	15(△6)	25(+13)	75(△4)	0(△2)	26(△4)
②	12(+7)	10(+2)	23(△10)	0(△1)	22(+16)
③	6(+3)	3(0)	30(△3)	1(+1)	15(+1)
合計	33(+4)	38(+15)	128(△17)	1(△2)	63(+13)

※()内の数字は、前年1～10月との比較

▶発生区分

- ①本町、松並、ひがし野、赤法花、同地、百合ヶ丘、中央、松ヶ丘、大柏、野木崎
- ②久保ヶ丘、御所ヶ丘、立沢、松前台、薬師台、緑、板戸井、大木、大山新田
- ③みずき野、小山、乙子、けやき台、高野、鈴塚、美園

守谷市内の交通事故発生状況 (11月)

件数 16 件

死者数 1 人

負傷者 18 人

取手市医師会健康教室

注意欠陥多動性障害(ADHD)

最近、落ち着きがなく、キレやすい子どもが増えているのではと言われることがあります。これらの子どもたちの中には「注意欠陥多動性障害(ADHD)」と考えられる子どもたちも含まれています。

文部科学省の定義によるとADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな①不注意②多動性③衝動性を特徴とする行動の障がい、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものです。

●不注意

気が散りやすく、興味を持てない授業だと、全く集中できず、忘れ物も多くみられる。その反面、自分が好きなことにはすごい集中を示すことがある。

●多動性

座っていられず、教室から飛び出すことがある。女児の場合「お口の多動」という、ひっきりなしのおしゃべりが目立つこともある。

●衝動性

突然、教室から飛び出す、他の子に乱暴するなど、衝動的な行動が見られることがある。また、自分を抑えることができずに、いけないとわかっていても、言葉に出してしまうこともある。

ADHDの子どもは、不注意のために物事を忘れることが多く、多動でカッとなりやすい傾向があります。そのため、保護者や先生から注意され、叱られることが多く、学校生活でもトラブルが生じます。注意されても意味がよく分からないため、同じことをして、さらに注意・叱責を受けることとなります。このような状況が続くと自己評価が低下して、劣等感が強まり、自暴自棄になるという悪循環に陥ってしまいます。

ADHDが疑われる場合は、早期に専門医を受診して、正確な診断を受けることが必要です。ADHDと診断された場合は、子どもの自己に対する評価が低下しないよう、周囲の人が障がいの特性を理解し、自尊心を高めるような接し方をすることが、重要です。

